

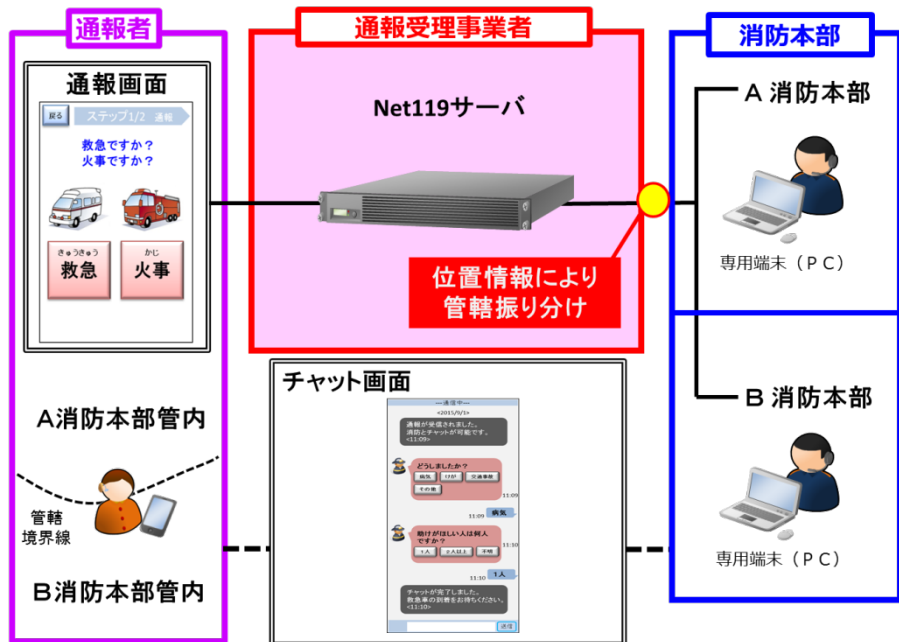
1 趣旨・目的

高齢化の進展や障がい者の社会参画の拡大等により、様々な状況における音声以外の緊急通報手段の需要が高まることが予想されることから、聴覚・言語機能障がい者等に対応した119番通報について、いつでも全国どこからでも、音声によらない通報ができる技術的条件仕様等の検討を行い、その手段を確立することを目的として検討会を開催。

本年度は特に以下の点について検討を行った。

- ① Net119(※)システムとして最低限満たすべき **技術的条件仕様の策定**
- ② 最寄りの消防本部への **管轄自動振分機能の導入**

Net119システム概要図



(※)Net119：聴覚・言語機能障がい者等が円滑に緊急通報が可能なスマートフォン等から packet 通信を利用した緊急通報

2 主な検討項目

(1) 技術的検討

(通報時聴取項目/通報者・消防本部端末の画面仕様/管轄自動振分機能/通信回線等)

(2) その他の課題に関する検討

(事前登録の仕組み等/Net119システムのサーバ要件/利用者の拡大の可能性)

4 委員

(◎：座長 ○：座長代理)

浅利 靖	北里大学医学部救命救急医学教授
○石井 夏生利	筑波大学図書館情報メディア系准教授
臼井 正人	東京消防庁総務部情報通信課長 (～H27. 9. 30)
早坂 俊裕	(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会情報文化部長 (H27. 10. 1～)
小川 光彦	早稲田大学名誉教授
◎加納 貞彦	(一財)全日本ろうあ連盟理事
倉野 直紀	埼玉西部消防局警防部指令第一課長
酒井 英男	全国消防長会事業部長
高松 益樹	(一社)情報通信技術委員会代表理事専務理事
前田 洋一	

3 検討経過

第1回検討会 H27. 9. 1 第3回検討会 H28. 2. 9

第2回検討会 H27. 10. 7 第4回検討会 H28. 3. 17

〈実証実験〉

H28. 1. 19 東京消防庁管内

H28. 1. 21 埼玉西部消防局管内

5 実証実験

聴覚・言語機能障がい者等10名、東京消防庁/埼玉西部消防局指令員の方々の協力のもと、実証実験を実施。Net119システムのプロトタイプを作成し、通報時聴取項目等について検証を行った。また、管轄境界付近での通報を行い、位置情報にもとづく管轄振分機能の動作検証を行った。

6 主な検討結果

①技術的条件仕様(主要な項目抜粋)

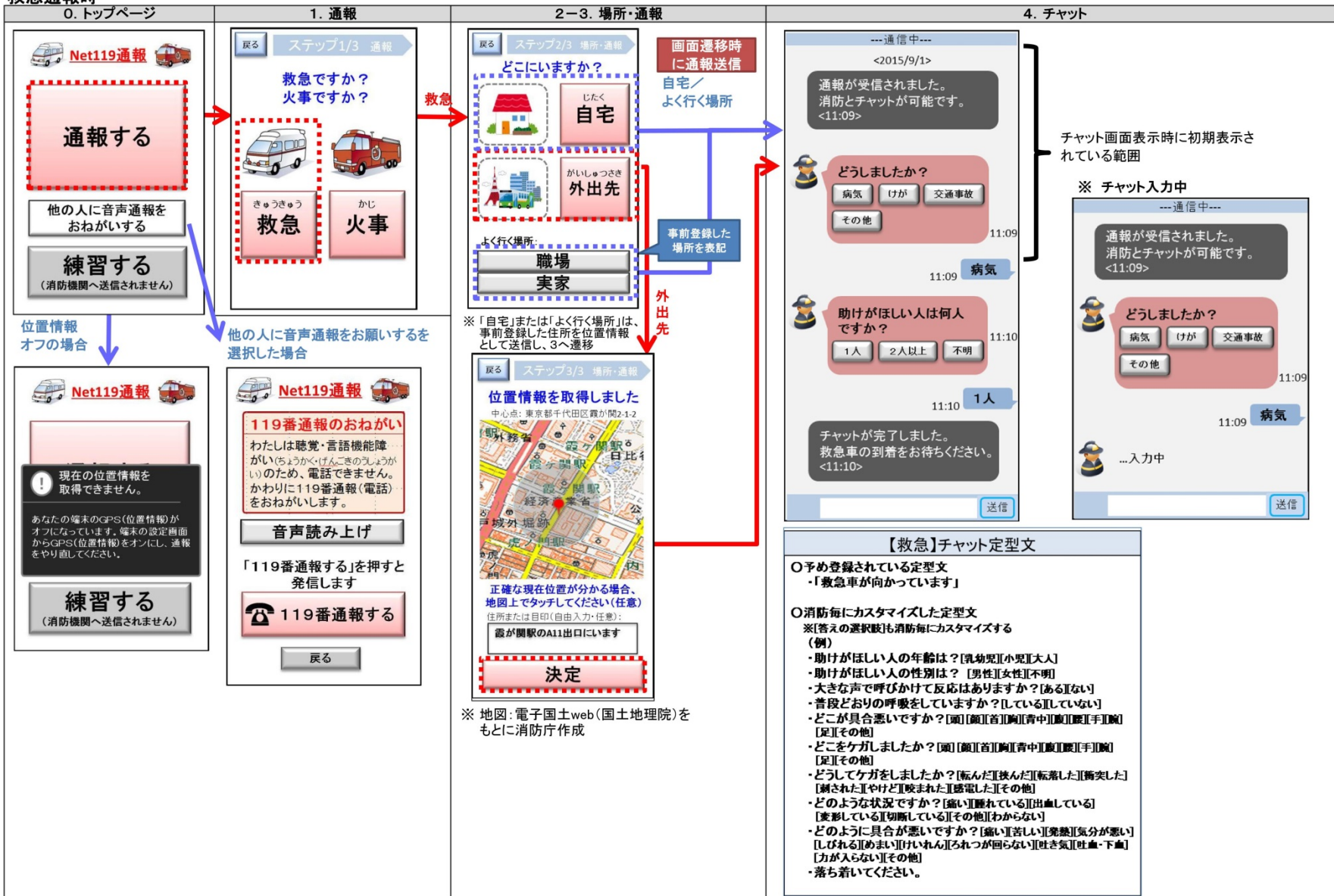
技術的条件仕様 (非機能要件を除く)

通報時聴取項目	別紙のとおり	
通報者／消防本部端末の画面仕様		
Net119サービス利用における事前登録項目	10項目(氏名、住所等)の登録機能の実装	
通報方式	Web方式	
通信回線	通報者端末 ⇄ Net119ゲートウェイ ⇄ 消防本部端末	インターネット回線
個人情報の扱い	システム提供形態ごとに遵守が求められるガイドライン等を整理	
その他要件	通報者端末	文字サイズ/背景色の選択機能、チャット入力文字数制限機能の実装
	消防本部端末	チャット入力定型文のカスタマイズ機能、通報受信時等におけるパワライト等との連携機能の実装
	Net119ゲートウェイ	管轄自動振分機能の実装

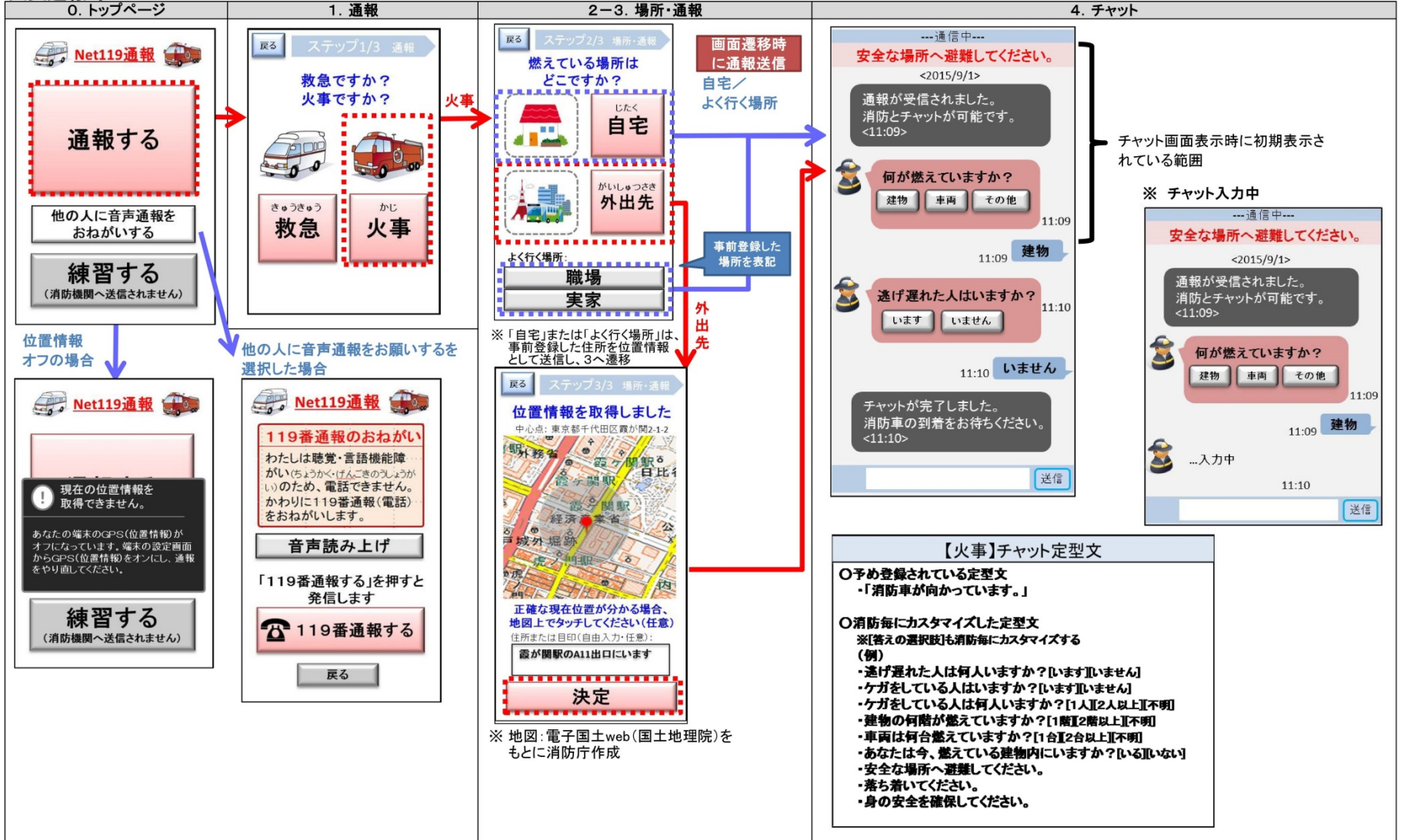
②次年度以降の継続検討課題

- 事前登録の仕組み等 (事前登録情報の保管方法／利用申請方法)
- Net119システムのサーバ要件 (契約形態の整理)
- 利用者の拡大の可能性 (外国人への利用拡大の可否)
- 通報集中時における動作 (通報集中時における負荷分散方法)

救急通報時



火災通報時



文字の大きさ
小
標準
大

通報情報	利用者情報	緊急連絡先	青の円: 通報直後の位置情報	黄の円: 現在の位置	📍: 通報者指定の位置情報
通報日	2016-02-03				
通報時間	21:49:17				
種別	救急				
氏名	救急 太郎				
住所	東京都江東区豊洲3-3-3				
年齢	76				
性別	男				
場所区分	自宅				

2016/02/03 21:49:52 に接続されました

受信時間: 2016/02/03 21:49:17

<管轄情報>
管轄内/管轄外
(○)消防本部

聴取完了

文字の大きさを
カスタマイズ可能とする

視覚的に判断できるようにする。
救急: 青字
火事: 赤字

各リンクを押すと、
それぞれの位置情報が示し
ている場所の地図画面へ
移動する。

以下の場合、音を鳴らす・パトライト
と連携する

- ・通報があったとき
- ・チャットの発言があったとき